

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	(毎月決算型) 2015年2月10日から2025年1月10日まで (年2回決算型) 2015年4月10日から2025年1月10日まで	
運用方針	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」)に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)	・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
	イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	(毎月決算型) 原則として毎月10日(休業日の場合は翌営業日) (年2回決算型) 原則として毎年1月10日および7月10日(休業日の場合は翌営業日) 各ファンドの毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。	

運用報告書 (全体版)

イーストスプリング・ インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)

(毎月決算型) 第10作成期

第53期(決算日2019年8月13日) 第56期(決算日2019年11月11日)
第54期(決算日2019年9月10日) 第57期(決算日2019年12月10日)
第55期(決算日2019年10月10日) 第58期(決算日2020年1月10日)

(年2回決算型)

第10期(決算日2020年1月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)／(年2回決算型)」は、上記の決算を行いましたので、ここに各期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

電話番号:03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス: <https://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

最近5作成期の運用実績

決 算 期		基準価額 (分配落)	税 込		債 券 組入比率	純資産 総 額
			分	期 中		
		円	配 金	騰 落 率	%	百万円
第6 作成期	29期(2017年8月10日)	9,927	45	△1.0	93.7	58,514
	30期(2017年9月11日)	9,742	45	△1.4	94.1	59,419
	31期(2017年10月10日)	9,843	45	1.5	96.6	62,166
	32期(2017年11月10日)	9,917	45	1.2	93.3	65,248
	33期(2017年12月11日)	9,969	45	1.0	93.4	67,693
	34期(2018年1月10日)	9,881	45	△0.4	91.4	68,457
第7 作成期	35期(2018年2月13日)	9,366	45	△4.8	90.5	66,157
	36期(2018年3月12日)	9,056	45	△2.8	90.2	64,188
	37期(2018年4月10日)	9,197	45	2.1	89.8	65,630
	38期(2018年5月10日)	9,009	45	△1.6	87.8	65,443
	39期(2018年6月11日)	8,799	45	△1.8	87.8	63,560
	40期(2018年7月10日)	8,791	45	0.4	90.4	63,371
第8 作成期	41期(2018年8月10日)	8,834	45	1.0	88.0	63,632
	42期(2018年9月10日)	8,424	45	△4.1	88.1	60,337
	43期(2018年10月10日)	8,285	45	△1.1	87.4	58,347
	44期(2018年11月12日)	8,583	45	4.1	88.8	59,579
	45期(2018年12月10日)	8,727	45	2.2	91.2	59,719
	46期(2019年1月10日)	8,455	45	△2.6	88.0	57,251
第9 作成期	47期(2019年2月12日)	8,532	45	1.4	88.8	57,396
	48期(2019年3月11日)	8,704	45	2.5	90.3	57,488
	49期(2019年4月10日)	8,790	45	1.5	95.1	58,392
	50期(2019年5月10日)	8,565	45	△2.0	92.3	56,578
	51期(2019年6月10日)	8,663	45	1.7	88.1	57,266
	52期(2019年7月10日)	8,843	45	2.6	90.2	58,747
第10 作成期	53期(2019年8月13日)	8,291	45	△5.7	93.1	55,239
	54期(2019年9月10日)	8,419	45	2.1	93.5	55,832
	55期(2019年10月10日)	8,442	45	0.8	93.4	55,504
	56期(2019年11月11日)	8,535	45	1.6	92.2	55,398
	57期(2019年12月10日)	8,511	45	0.2	94.9	54,701
	58期(2020年1月10日)	8,582	45	1.4	94.8	54,897

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注4) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
第53期	(期 首) 2019年7月10日	円 8,843		% —	% 90.2
	7月末	8,835		△0.1	93.2
	(期 末) 2019年8月13日	8,336		△5.7	93.1
第54期	(期 首) 2019年8月13日	8,291		—	93.1
	8月末	8,359		0.8	93.0
	(期 末) 2019年9月10日	8,464		2.1	93.5
第55期	(期 首) 2019年9月10日	8,419		—	93.5
	9月末	8,558		1.7	92.5
	(期 末) 2019年10月10日	8,487		0.8	93.4
第56期	(期 首) 2019年10月10日	8,442		—	93.4
	10月末	8,621		2.1	91.6
	(期 末) 2019年11月11日	8,580		1.6	92.2
第57期	(期 首) 2019年11月11日	8,535		—	92.2
	11月末	8,602		0.8	91.2
	(期 末) 2019年12月10日	8,556		0.2	94.9
第58期	(期 首) 2019年12月10日	8,511		—	94.9
	12月末	8,561		0.6	95.0
	(期 末) 2020年1月10日	8,627		1.4	94.8

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

最近5期の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税 込	期 中	債 券 組入比率	純資産 総 額
		分配金	騰落率		
6期（2018年1月10日）	円 11,259	円 0	% 0.8	% 91.6	百万円 21,115
7期（2018年7月10日）	10,318	0	△8.4	90.6	20,129
8期（2019年1月10日）	10,240	0	△0.8	88.2	18,922
9期（2019年7月10日）	11,050	0	7.9	90.3	20,316
10期（2020年1月10日）	11,072	0	0.2	95.0	19,766

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組入比率
(期 首) 2019年7月10日	円 11,050	% —		% 90.3
7月末	11,040	△0.1		93.2
8月末	10,502	△5.0		93.1
9月末	10,809	△2.2		92.8
10月末	10,948	△0.9		91.9
11月末	10,982	△0.6		91.8
12月末	10,987	△0.6		95.7
(期 末) 2020年1月10日	11,072	0.2		95.0

(注1) 騰落率は期首比です。

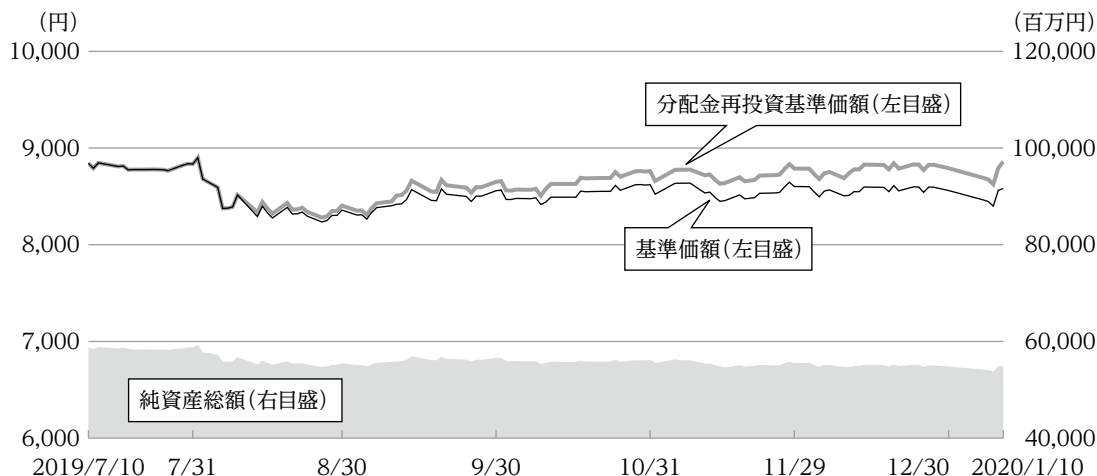
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

運用経過

（毎月決算型）

基準価額等の推移について

（2019年7月11日～2020年1月10日）



第53期首	8,843円
第58期末	8,582円（既払分配金270円）
騰落率	0.2%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

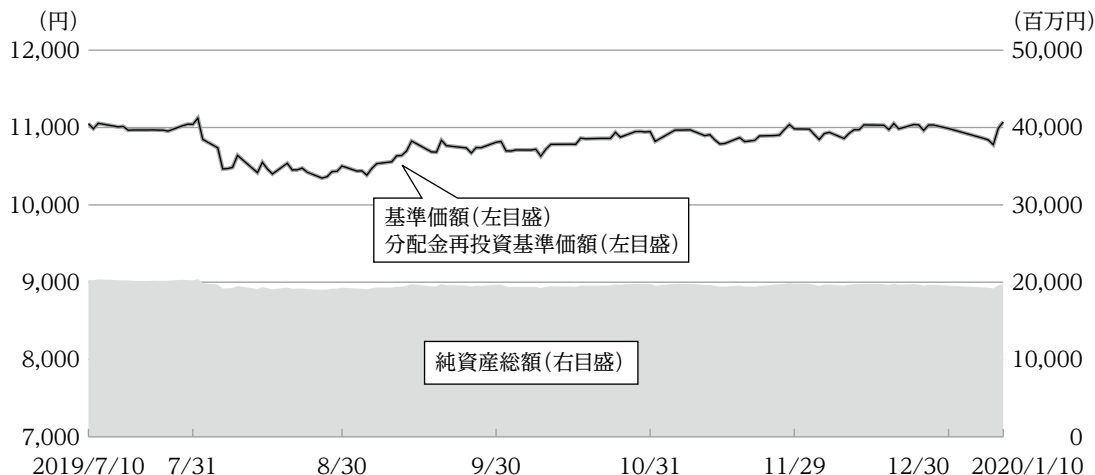
上昇要因

- ・債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・債券からのクーポン収入（利金）。

（年2回決算型）

基準価額等の推移について

（2019年7月11日～2020年1月10日）



第10期首	11,050円
第10期末	11,072円（既払分配金0円）
騰落率	0.2%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

（注3）分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・債券からのクーポン収入（利金）。

投資環境について

インド債券市場

2019年8月、景気支援に向けた財政出動観測が高まってインド債券の価格は下落（利回りは上昇）しました。9月20日に大型の法人税減税が発表されると、税収の減少懸念から債券は一段安となりました。その後、2019／20年度後半の国債発行予定額が据え置かれたことから、債券価格は反発（利回りは低下）しました。12月初旬に市場の利下げ予想に反してインド準備銀行（中央銀行、RBI）が政策金利を据え置いたことにより債券市場は再び調整しましたが、12月下旬にRBIがオペレーションツイスト（長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行う公開市場操作）を実施したことから債券市場は反発し、通期では小動きとなりました。

ポートフォリオについて

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資しました。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と

為替市場

2019年8月初旬、中国人民元安に端を發したアジア通貨安の中でインドルピーは対米ドルで急落しました。9月は反発しましたが、11月に米大手格付会社がインドの格付見通しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げたことから再び下落しました。12月初旬に市場予想に反してインドの政策金利が据え置かれるとルピーは上昇し、2020年1月には米国とイランの緊張が高まると一時的に下落したものの、緊張緩和とともに反発しました。通期ではルピー安米ドル高となりました。他方、円も対米ドルで下落しましたが、ルピーの下落幅が上回ったため、ルピー安円高となりました。

信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、運用を行いました。当（作成）期は、銀行セクターや石油・ガスセクターの銘柄の保有が主なプラス要因となりました。投資行動としては、2019年11月から12月にかけて利回りが低下した短期の債券を売却して長期の債券を購入し、戦術的にデュレーションの長期化を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）
（毎月決算型）

項目	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
	2019年7月11日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月10日	2019年9月11日 ～2019年10月10日	2019年10月11日 ～2019年11月11日	2019年11月12日 ～2019年12月10日	2019年12月11日 ～2020年1月10日
当期分配金 (円)	45	45	45	45	45	45
(対基準価額比率) (%)	0.540	0.532	0.530	0.524	0.526	0.522
当期の収益 (円)	41	41	39	45	37	43
当期の収益以外 (円)	3	3	5	—	7	1
翌期繰越分配対象額 (円)	999	997	992	995	989	989

（年2回決算型）

項目	第10期
	2019年7月11日 ～2020年1月10日
当期分配金 (円)	—
(対基準価額比率) (%)	—
当期の収益 (円)	—
当期の収益以外 (円)	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,056

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）—印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）

引き続きイーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド受益証券を高位に組入れることにより、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド

2019年12月の消費者物価指数（CPI）上昇率は前年同月比+7.35%と、RBIのインフレーターターゲットである $4 \pm 2\%$ の上限を超えました。野菜価格の高騰が背景にありますが、野菜を中心とした食料品のインフレ率は、ラビ作物（乾期に育つ作物）の収穫や政府による供給側への措置により、2020年1－3月には緩和すると見られ、追加の金融緩和の余地があるとみています。利回り収入の観点から、短期および中期の社債が魅力的との見方ですが、RBIの金融政策の恩恵が見込まれると判断した局面では戦術的に長期債の組入れを増やすことも検討します。引き続き、安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1 万口当たりの費用明細

(2019年7月11日～2020年1月10日)

項目	第53期～第58期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	73円	0.852%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 作成期間の平均基準価額は、8,589円です。
(投信会社)	(36)	(0.415)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.415)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.018	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(0)	(0.001)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.001)	インドの税務代理人に対する手数料
合計	75	0.870	

(注1) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

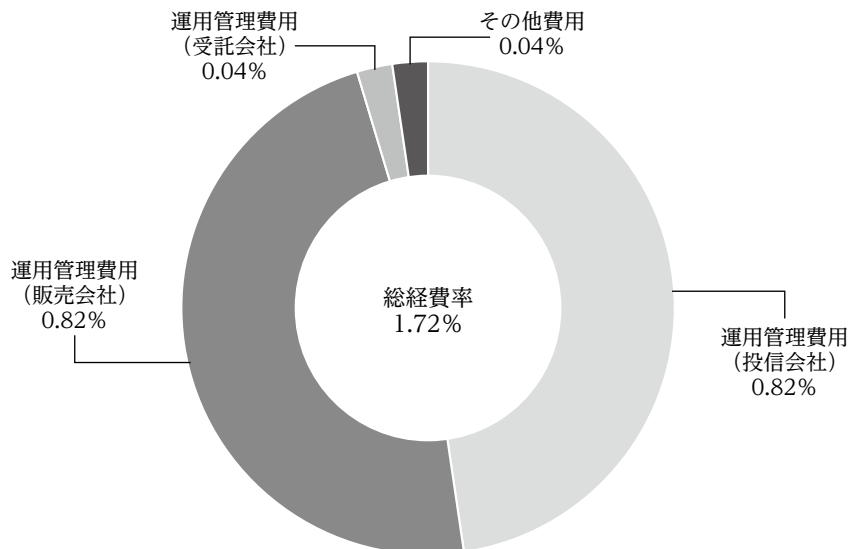
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

売買及び取引の状況

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

決 算 期	第 53 期 ～ 第 58 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	923,724	1,109,232	4,554,353	5,422,903

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2020年1月10日現在）

親投資信託残高

種 類	前作成期末 (第52期末)	当 作 成 期 末 (第 58 期 末)	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	48,711,595	45,080,965	55,264,755

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2020年1月10日現在の受益権総口数は、61,341,350千口です。

投資信託財産の構成

（2020年1月10日現在）

項 目	当 作 成 期 末 (第58期末)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	55,264,755	99.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	86,074	0.2
投 資 信 託 財 産 総 額	55,350,829	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（74,183,512千円）の投資信託財産総額（76,067,939千円）に対する比率は97.5%です。

（注3）外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.57円、1インドルピー=1.55円です。

特定資産の価格等の調査

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2019年8月13日)	(2019年9月10日)	(2019年10月10日)	(2019年11月11日)	(2019年12月10日)	(2020年1月10日)現在
項 目	第 53 期末	第 54 期末	第 55 期末	第 56 期末	第 57 期末	第 58 期末
(A) 資 産	55,787,341,223円	56,392,472,394円	56,179,601,914円	56,125,947,577円	55,318,668,451円	55,350,829,024円
コー ル ・ ロ ー ン 等	85,848,100	126,968,242	105,986,882	84,640,689	94,281,005	34,749,679
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	55,629,490,992	56,201,527,812	55,878,340,563	55,773,886,951	55,065,834,065	55,264,755,601
未 収 入 金	72,002,131	63,976,340	195,274,469	267,419,937	158,553,381	51,323,744
(B) 負 債	547,488,433	560,141,203	674,824,625	727,675,801	616,973,301	453,777,868
未 払 収 益 分 配 金	299,834,247	298,421,303	295,866,354	292,082,355	289,218,810	287,858,085
未 払 解 約 金	157,850,231	190,944,582	301,261,351	352,060,626	252,834,386	86,073,423
未 払 信 託 報 酬	89,594,842	70,394,080	77,131,454	82,770,840	73,979,950	78,715,825
未 払 利 息	251	372	310	248	276	99
そ の 他 未 払 費 用	208,862	380,866	565,156	761,732	939,879	1,130,436
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	55,239,852,790	55,832,331,191	55,504,777,289	55,398,271,776	54,701,695,150	54,897,051,156
元 本	66,629,832,785	66,315,845,166	65,748,078,821	64,907,190,199	64,270,846,717	63,968,463,541
次 期 繰 越 損 益 金	△11,389,979,995	△10,483,513,975	△10,243,301,532	△ 9,508,918,423	△ 9,569,151,567	△ 9,071,412,385
(D) 受 益 権 総 口 数	66,629,832,785口	66,315,845,166口	65,748,078,821口	64,907,190,199口	64,270,846,717口	63,968,463,541口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	8,291円	8,419円	8,442円	8,535円	8,511円	8,582円

(注1) 元本の状況

当ファンドの第53期首元本額は66,431,884,070円、第53～58期中追加設定元本額は6,428,730,640円、第53～58期中一部解約元本額は8,892,151,169円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第53期0.8291円、第54期0.8419円、第55期0.8442円、第56期0.8535円、第57期0.8511円、第58期0.8582円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（毎月決算型）

損益の状況

第53期（自2019年7月11日至2019年8月13日）、第56期（自2019年10月11日至2019年11月11日）
 第54期（自2019年8月14日至2019年9月10日）、第57期（自2019年11月12日至2019年12月10日）
 第55期（自2019年9月11日至2019年10月10日）、第58期（自2019年12月11日至2020年1月10日）

項目	第 53 期	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期	第 58 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 14,482円	△ 8,756円	△ 11,440円	△ 14,846円	△ 12,736円	△ 17,180円
支 払 利 息	△ 14,482	△ 8,756	△ 11,440	△ 14,846	△ 12,736	△ 17,180
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,282,236,497	1,215,187,134	515,755,552	962,473,554	206,303,883	811,088,869
売 買 益	13,279,813	1,220,487,444	525,144,078	986,235,557	216,297,596	822,874,422
売 買 損	△ 3,295,516,310	△ 5,300,310	△ 9,388,526	△ 23,762,003	△ 9,993,713	△ 11,785,553
(C) 信 託 報 酬 等	△ 89,803,704	△ 70,566,084	△ 77,315,744	△ 82,967,416	△ 74,158,097	△ 78,906,382
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 3,372,054,683	1,144,612,294	438,428,368	879,491,292	132,133,050	732,165,307
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 3,647,293,670	△ 7,164,620,306	△ 6,165,879,891	△ 5,811,786,966	△ 5,078,467,473	△ 5,075,261,709
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,070,797,395	△ 4,165,084,660	△ 4,219,983,655	△ 4,284,540,394	△ 4,333,598,334	△ 4,440,457,898
(配 当 等 相 当 額)	(5,023,468,716)	(5,003,438,074)	(4,959,678,200)	(4,887,737,834)	(4,870,367,796)	(4,828,529,633)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 9,094,266,111)	(△ 9,168,522,734)	(△ 9,179,661,855)	(△ 9,172,278,228)	(△ 9,203,966,130)	(△ 9,268,987,531)
(G) 計 (D+E+F)	△ 11,090,145,748	△ 10,185,092,672	△ 9,947,435,178	△ 9,216,836,068	△ 9,279,932,757	△ 8,783,554,300
(H) 収 益 分 配 金	△ 299,834,247	△ 298,421,303	△ 295,866,354	△ 292,082,355	△ 289,218,810	△ 287,858,085
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 11,389,979,995	△ 10,483,513,975	△ 10,243,301,532	△ 9,508,918,423	△ 9,569,151,567	△ 9,071,412,385
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,093,457,874	△ 4,187,382,532	△ 4,256,430,958	△ 4,284,540,394	△ 4,381,319,877	△ 4,449,429,914
(配 当 等 相 当 額)	(5,005,432,304)	(4,983,229,761)	(4,925,245,220)	(4,891,010,928)	(4,825,951,214)	(4,822,664,401)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 9,098,890,179)	(△ 9,170,612,293)	(△ 9,181,676,178)	(△ 9,175,551,322)	(△ 9,207,271,091)	(△ 9,272,094,315)
分 配 準 備 積 立 金	1,656,499,308	1,629,587,227	1,599,080,294	1,573,006,320	1,534,423,406	1,504,694,216
繰 越 損 益 金	△ 8,953,021,430	△ 7,925,718,670	△ 7,585,950,868	△ 6,797,384,349	△ 6,722,255,096	△ 6,126,676,687

- (注 1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
 (注 2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注 3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
 (注 4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
 (注 5) 分配金の計算過程

第53期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(277,173,768円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,028,092,783円)および分配準備積立金(1,656,499,309円)より、分配対象収益は6,961,765,860円(10,000口当たり1,044円)であり、うち299,834,247円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第54期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(276,123,431円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(5,005,527,633円)および分配準備積立金(1,629,587,227円)より、分配対象収益は6,911,238,291円(10,000口当たり1,042円)であり、うち298,421,303円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第55期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(259,419,051円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,961,692,523円)および分配準備積立金(1,599,080,294円)より、分配対象収益は6,820,191,868円(10,000口当たり1,037円)であり、うち295,866,354円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第56期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(308,709,330円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,891,010,928円)および分配準備積立金(1,556,379,345円)より、分配対象収益は6,756,099,603円(10,000口当たり1,040円)であり、うち292,082,355円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第57期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(241,497,267円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,873,672,757円)および分配準備積立金(1,534,423,406円)より、分配対象収益は6,649,593,430円(10,000口当たり1,034円)であり、うち289,218,810円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

第58期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(278,886,069円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,831,636,417円)および分配準備積立金(1,504,694,216円)より、分配対象収益は6,615,216,702円(10,000口当たり1,034円)であり、うち287,858,085円(10,000口当たり45円)を分配金額としております。

分配金のお知らせ

決算期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期	第58期
1万口当たり分配金（税引前）	45円	45円	45円	45円	45円	45円

- ◇分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
- ◇分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となり、分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額がその後の新たな個別元本となります。
- ◇個人の受益者については、原則として20.315%の税率で源泉徴収（申告不要）されます。
- ◇「自動けいぞく投資コース」をお申込みの場合、分配金は、税金を差引いた後、決算日の基準価額に基づいて自動的に無手数料で再投資いたしました。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

お知らせ

該当事項はありません。

1万口当たりの費用明細

（2019年7月11日～2020年1月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	93円	0.852%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,878円です。
（投信会社）	(45)	(0.415)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(45)	(0.415)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.021	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
（その他）	(0)	(0.001)	インドの税務代理人に対する手数料
合計	95	0.873	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

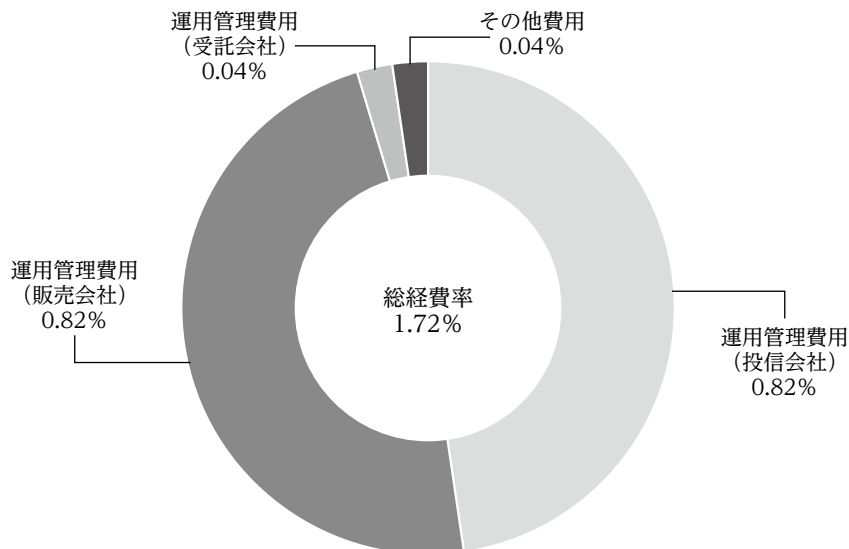
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド（年2回決算型）

売買及び取引の状況

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 715,965	千円 857,084	千口 1,326,421	千円 1,587,847

（注）単位未満は切捨てです。

利害関係人との取引状況等

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

当期中における利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

（2020年1月10日現在）

親投資信託残高

種 類	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千口 16,870,840	千口 16,260,384	千円 19,933,605

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）マザーファンドの2020年1月10日現在の受益権総口数は、61,341,350千口です。

投資信託財産の構成

（2020年1月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド	千円 19,933,605	% 99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	15,988	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	19,949,593	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（74,183,512千円）の投資信託財産総額（76,067,939千円）に対する比率は97.5%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.57円、1インドルピー=1.55円です。

特定資産の価格等の調査

（2019年7月11日から2020年1月10日まで）

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2020年1月10日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	19,949,593,307円
コール・ローン等	11,718,653
イーストスプリング・インド公益 インフラ債券マザーファンド(評価額)	19,933,605,839
未 収 入 金	4,268,815
(B) 負 債	182,836,222
未 払 解 約 金	15,987,468
未 払 信 託 報 酬	165,718,285
未 払 利 息	33
そ の 他 未 払 費 用	1,130,436
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	19,766,757,085
元 本	17,852,328,387
次 期 繰 越 損 益 金	1,914,428,698
(D) 受 益 権 総 口 数	17,852,328,387口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	11,072円

- (注1) 元本の状況
 期首元本額 18,385,630,186円
 期中追加設定元本額 1,699,903,149円
 期中一部解約元本額 2,233,204,948円
- (注2) 1口当たり純資産額は1,1072円です。
- (注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

損益の状況

当期（自2019年7月11日 至2020年1月10日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 16,027円
支 払 利 息	△ 16,027
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	229,826,919
売 買 益	271,449,410
売 買 損	△ 41,622,491
(C) 信 託 報 酬 等	△ 166,848,721
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	62,962,171
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,013,520,154
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	837,946,373
(配 当 等 相 当 額)	(2,395,029,602)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,557,083,229)
(G) 計 (D + E + F)	1,914,428,698
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,914,428,698
追 加 信 託 差 損 益 金	837,946,373
(配 当 等 相 当 額)	(2,401,332,429)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,563,386,056)
分 配 準 備 積 立 金	3,054,413,765
繰 越 損 益 金	△1,977,931,440

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。
- (注4) マザーファンドの信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に年10,000分の37.5の率を乗じて得た金額を委託者報酬の中から支弁しています。
- (注5) 分配金の計算過程
 計算期間末における費用控除後の配当等収益(502,772,658円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,401,332,429円)および分配準備積立金(2,551,641,107円)より、分配対象収益は5,455,746,194円(10,000口当たり3,056円)ですが、当期に分配した金額はありません。

分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

お知らせ

該当事項はありません。

イーストスプリング・インド公益インフラ債券 マザーファンド

運用報告書

第5期（決算日：2020年1月10日）
（計算期間：2019年1月11日～2020年1月10日）

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券マザーファンド」の第5期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてインドの公益およびインフラ関連の債券（以下「公益インフラ債券」）に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	インドの公益インフラ債券を主要投資対象とします。
組入制限	・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ・ 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中率	債券 組入比率	純資産 総額
		騰落率		
(設定日) 2015年2月10日	円 10,000	% —	% —	百万円 586
1期(2016年1月12日)	10,236	2.4	91.0	34,876
2期(2017年1月10日)	11,158	9.0	87.9	52,967
3期(2018年1月10日)	12,074	8.2	90.9	90,147
4期(2019年1月10日)	11,163	△7.5	87.4	76,725
5期(2020年1月10日)	12,259	9.8	94.2	75,199

(注1) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注2) 設定日の基準価額は設定時の価額を、設定日の純資産総額は設定当初の元本額を記載しております。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

当期中の基準価額等の推移

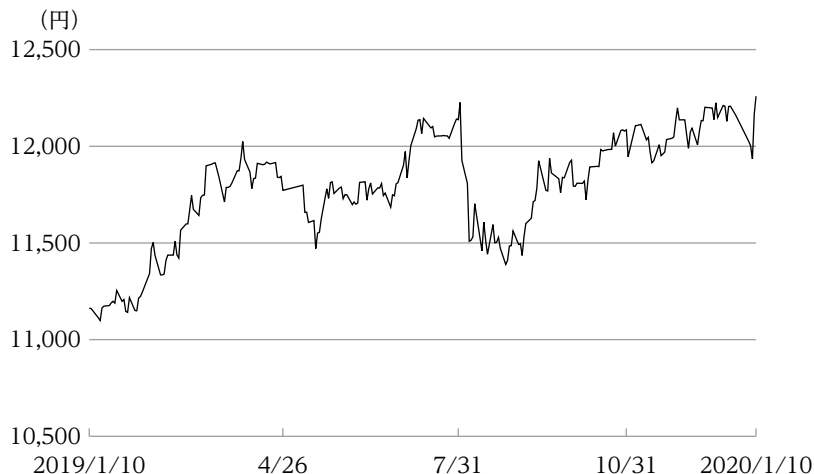
年月日	基準価額	騰落率	債券 組入比率
(期首) 2019年1月10日	円 11,163	% —	% 87.4
1月末	11,141	△0.2	88.2
2月末	11,422	2.3	89.1
3月末	11,808	5.8	94.6
4月末	11,772	5.5	91.9
5月末	11,749	5.2	89.8
6月末	11,812	5.8	91.5
7月末	12,138	8.7	93.1
8月末	11,562	3.6	92.9
9月末	11,916	6.7	92.4
10月末	12,085	8.3	91.5
11月末	12,137	8.7	91.2
12月末	12,159	8.9	94.9
(期末) 2020年1月10日	12,259	9.8	94.2

(注) 騰落率は期首比です。

運用経過

基準価額の推移について

(2019年1月11日～2020年1月10日)



第5期首	11,163円
第5期末	12,259円
騰落率	9.8%

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

- ・債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・債券からのクーポン収入（利金）。

投資環境について

インド債券市場

2019年5月から7月は、下院総選挙においてモディ首相率いるインド人民党（BJP）が圧勝したことや、インド準備銀行（中央銀行、RBI）が金融政策スタンスを「中立」から「緩和的」に変更したことが支援材料となり、インド債券の価格は上昇（利回りは低下）しました。8月と9月は、財政赤字拡大懸念から債券価格は下落（利回りは上昇）しましたが、その

後、2019/20年度後半の国債発行予定額が据え置かれると反発に転じました。12月初旬には市場の利下げ予想に反してRBIが政策金利を据え置いたことにより債券市場は再び調整しましたが、同月下旬にオペレーションツイスト（長期国債の買いオペと短期国債の売りオペを同時に行う公開市場操作）を実施したことから債券市場は反発し、通期では上昇となりました。

為替市場

インドルピーは、2019年3月に外国人投資家からインド株式市場への資金流入を背景に対米ドルで上昇しました。その後、5月中旬までやや軟調となりましたが、下院総選挙でのBJP圧勝や原油価格の下落を受けてルピーは再び上昇しました。8月初旬、中国人民元安に端を發したアジア通貨安の中でルピーは対米ドルで

急落しました。その後は期末まで一進一退の動きとなり、通期ではルピー安米ドル高となりました。

円は8月にリスク回避の円買いで一時円高となりましたが、その後反落し、通期では対米ドルで下落したため、ルピーは対円では小動きとなりました。

ポートフォリオについて

主としてインドの公益およびインフラ関連の債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行いました。マクロ経済分析および金利分析に加え、個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により運用を行いました。当期は、銀行セクターや石油・ガスセクターの銘柄の保有が主なプラス要因となりました。

投資行動としては、2019年3月にスプレッドの縮小を見込んで長期の社債の組入れを増やしデュレーションを長期化、6月から利益確定のために長期の社債を売却し、その後、短期の債券の組入れを増やしました。11月から12月にかけては利回りが低下した短期の債券を売却して長期の債券を購入し、戦術的にデュレーションの長期化を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

今後の運用方針について

2019年12月の消費者物価指数（CPI）上昇率は、前年同月比+7.35%と、RBIのインフレターゲットである $4 \pm 2\%$ の上限を超えました。野菜価格の高騰が背景にありますが、野菜を中心とした食料品のインフレ率は、ラビ作物（乾期に育つ作物）の収穫や政府による供給側への措置により、2020年1－3月には緩和すると見られ、追加の金融緩和の余地があるとみています。利回り収入の観点から、短期および中

期の社債が魅力的との見方ですが、RBIの金融政策の恩恵が見込まれると判断した局面では戦術的に長期債の組入れを増やすことも検討します。引き続き、安全性や流動性を重視しつつ、機動的なデュレーション管理と個別発行体に対するクレジット調査に基づく銘柄選択により、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行って参ります。

1万口当たりの費用明細

(2019年1月11日～2020年1月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	3円	0.027%	(a) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、11,808円です。
(保管費用)	(3)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
(その他)	(0)	(0.001)	インドの税務代理人に対する手数料
合計	3	0.027	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買及び取引の状況

(2019年1月11日から2020年1月10日まで)

公社債

			買付額	売付額
			千インドルピー	千インドルピー
外国	インド	国債証券	10,628,185	7,455,425
		地方債証券	—	2,514,791
		特殊債証券	3,712,312	6,393,296
		社債券（投資法人債券を含む）	13,638,159	10,562,819

(注1) 金額は受渡し代金です（経過利子分は含まれておりません。）。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 社債券（投資法人債券を含む）には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

利害関係人との取引状況等

(2019年1月11日から2020年1月10日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

(2020年1月10日現在)

公社債

(A) 種類別開示

外国(外貨建)公社債

組入有価証券明細表

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組 入 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年 以上	2年 以上	2年 未満
イン ド	千インドルピー 44,190,800	千インドルピー 45,705,568	千円 70,843,631	% 94.2	% 2.2	% 34.8	% 43.1	% 16.4
合 計	44,190,800	45,705,568	70,843,631	94.2	2.2	34.8	43.1	16.4

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注4) ー印は組入れなしです。

(注5) BB格以下組入比率の計算においては、S&Pおよびムーディーズの発行体格付けをもとに、当社が独自の基準で採用した格付けを用いています。なお、無格付けの債券組入比率は37.8%です。

(B) 個別銘柄開示

外国(外貨建)公社債

組入有価証券明細表

銘 柄		当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
国債証券	7.35% INDIA GOVT BOND	7.35	250,000	258,778	401,106	2024/06/22
	7.57% INDIA GOVT BOND	7.57	7,250,000	7,616,952	11,806,277	2033/06/17
	7.68% INDIA GOVT BOND	7.68	2,019,000	2,109,347	3,269,487	2023/12/15
	7.88% INDIA GOVT	7.88	10,000	10,717	16,612	2030/03/19
特殊債券 (除く金融債)	8.2% POWER GRID CIL	8.2	20,000	20,010	31,016	2020/01/23
	8.24% NABARD	8.24	250,000	265,063	410,848	2029/03/22
	8.52% HOUSING & URBAN DE	8.52	478,000	496,598	769,728	2028/11/28
	8.83% EX-IM BANK OF IND	8.83	25,000	26,272	40,721	2023/01/09
	8.87% EX-IM BANK OF IND	8.87	100,000	106,135	164,509	2025/03/13
普通社債券 (含む投資法人債券)	0% EMBASSY OFFC PARKS RE	—	1,000,000	1,073,410	1,663,785	2022/06/03
	2% TATA STEEL	2.0	670,000	1,079,611	1,673,397	2022/04/23
	6.99% RURAL ELECTRIFICAT	6.99	250,000	250,624	388,468	2020/12/31
	7.1% POWER FINANCE CORP	7.1	2,000,000	1,990,203	3,084,815	2022/08/08
	7.4% HOUSING DEV FINANCE	7.4	250,000	252,382	391,192	2020/11/17
	7.5% POWER FINANCE CORP	7.5	500,000	501,636	777,536	2021/08/16
	7.6% AXIS BANK LTD	7.6	3,150,000	3,176,230	4,923,158	2023/10/20
	7.6% ICICI BANK LTD	7.6	150,000	151,707	235,146	2023/10/07
	7.63% POWER FINANCE CORP	7.63	350,000	338,617	524,857	2026/08/14
	7.65% LIC HOUSING FINANC	7.65	500,000	503,058	779,741	2020/11/17
	7.95% SIKKA PORTS & TERM	7.95	1,000,000	1,001,315	1,552,038	2026/10/28

銘柄		当期末				償還年月日
		利率	額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(インド)		%	千インドルピー	千インドルピー	千円	
	8.12% NHPC LTD	8.12	2,000,000	2,047,108	3,173,018	2029/03/22
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	50,000	53,206	82,469	2026/03/25
	8.14% NUCLEAR POWER CORP	8.14	100,000	106,561	165,169	2027/03/25
	8.23% PUNJAB NATIONAL BK	8.23	75,000	77,847	120,664	2025/02/09
	8.25% VODAFONE MOBILE SE	8.25	3,000,000	2,993,325	4,639,653	2020/07/10
	8.27% RURAL ELECTRIFICAT	8.27	320,000	324,817	503,466	2025/02/06
	8.3% REC LIMITED	8.3	1,250,000	1,328,597	2,059,325	2029/03/23
	8.36% POWER FIN CORP	8.36	20,000	20,136	31,210	2020/02/26
	8.37% LIC HOUSING FIN	8.37	150,000	154,322	239,200	2023/05/21
	8.45% KOTAK MAHINDRA BK	8.45	400,000	411,452	637,750	2022/03/30
	8.45% SIKKA PORTS & TERM	8.45	1,825,000	1,848,396	2,865,014	2023/06/12
	8.49% NHPC	8.49	50,000	50,971	79,005	2020/11/26
	8.5% VEDANTA LTD	8.5	900,000	884,255	1,370,595	2021/04/05
	8.5% VEDANTA LTD	8.5	750,000	738,089	1,144,038	2021/06/15
	8.52% LIC HOUSING FIN	8.52	100,000	103,246	160,031	2025/03/03
	8.55% TALWANDI SABO POWE	8.55	250,000	248,607	385,341	2021/04/23
	8.65% POWER FINANCE CORP	8.65	800,000	822,056	1,274,187	2024/12/28
	8.65% RELIANCE INDUSTRIE	8.65	2,000,000	2,100,465	3,255,720	2028/12/11
	8.78% NHPC	8.78	50,000	51,327	79,557	2021/02/11
	8.78% NHPC	8.78	50,000	52,830	81,886	2023/02/11
	8.83% INDIAN RAIL FIN	8.83	20,000	20,798	32,237	2023/03/25
	8.85% AXIS BANK LTD	8.85	820,000	868,129	1,345,601	2024/12/05
	8.85% NHPC	8.85	10,900	11,197	17,355	2021/02/11
	8.85% NHPC	8.85	10,900	11,389	17,653	2022/02/11
	8.95% JAMNAGAR UTIL & PO	8.95	1,020,000	1,044,714	1,619,307	2023/04/26
	8.95% RELIANCE JIO INFOC	8.95	750,000	764,168	1,184,460	2020/10/04
	8.9508% PIPELINE INFRAS	8.9508	2,100,000	2,112,516	3,274,399	2024/03/22
	9.15% COASTAL GUJARAT PO	9.15	500,000	500,725	776,123	2021/06/14
	9.15% COASTAL GUJARAT PO	9.15	750,000	747,210	1,158,175	2022/06/14
	9.15% ICICI BANK	9.15	400,000	418,714	649,006	2024/08/06
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	185,000	202,248	313,484	2026/06/30
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	190,000	208,174	322,670	2026/12/31
	9.15% SP JAMMU UDHAMPUR	9.15	204,000	224,296	347,659	2027/12/31
	9.17% NTPC LTD	9.17	18,000	19,599	30,379	2024/09/22
	9.23% TALWANDI SABO POWE	9.23	150,000	149,647	231,953	2021/07/30
	9.25% ICICI BANK	9.25	250,000	262,722	407,219	2024/09/04
	9.55% HINDALCO INDUST	9.55	800,000	820,952	1,272,475	2022/04/25
	9.55% HINDALCO INDUST	9.55	250,000	260,721	404,118	2022/06/27
	9.6% HINDALCO INDUST	9.6	150,000	154,288	239,147	2022/08/02
	9.7% COASTAL GUJARAT POW	9.7	1,000,000	1,003,690	1,555,719	2023/08/25
	HOUSING DEV FINANCE	11.08	250,000	253,372	392,727	2027/04/13
合計	—	—	—	—	70,843,631	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

投資信託財産の構成

(2020年1月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	70,843,631 千円	93.1 %
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	5,224,308	6.9
投 資 信 託 財 産 総 額	76,067,939	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産 (74,183,512千円) の投資信託財産総額 (76,067,939千円) に対する比率は97.5%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2020年1月10日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.57円、1インドルピー=1.55円です。

特定資産の価格等の調査

(2019年1月11日から2020年1月10日まで)

該当事項はありません。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年1月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	76,067,939,252円
コーポレート債(評価額)	1,630,035,189
未収入金	70,843,631,726
未収利息	1,226,150,365
前払金	1,982,112,836
前払費用	11,955,835
(B) 負 債	868,841,890
未払金	374,053,301
未払解約金	813,246,250
未払利息	55,592,559
(C) 純資産総額(A-B)	75,199,097,362
元 本	61,341,350,388
次期繰越損益金	13,857,746,974
(D) 受益権総口数	61,341,350,388口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,259円

(注1) 元本の状況

期首元本額	68,734,618,598円
期中追加設定元本額	4,226,073,715円
期中一部解約元本額	11,619,341,925円
期末における元本の内訳	
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	45,080,965,496円
イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	16,260,384,892円
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)	0円
イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)	0円

(注2) 1口当たり純資産額は1.2259円です。

(注3) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

損益の状況

当期(自2019年1月11日 至2020年1月10日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	5,250,532,363円
受 取 利 息	5,251,326,770
支 払 利 息	△ 794,407
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,889,978,896
売 買 益	3,830,232,912
売 買 損	△ 1,940,254,016
(C) 信 託 報 酬 等	△ 20,857,179
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	7,119,654,080
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	7,991,068,704
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	783,019,002
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 2,035,994,812
(H) 計 (D+E+F+G)	13,857,746,974
次 期 繰 越 損 益 金(H)	13,857,746,974

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

お知らせ

該当事項はありません。